

【放デイ】事業者向け		事業所名		放課後等デイサービスあおい(第二単位)				
		アンケート実施期間		令和6年10月15日から令和6年11月15日				
		配布数		8枚(回収率100%)				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	工夫している点	課題、改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0		利用定員を決めて、適切な環境で過ごしている。確保できている。利用定員数いても、狭いと感じるほどのスペースではない。定員が多いと感じる場面はない。クールダウンをしたときに、折りたたみマットで仕切りをしたり、テントを使用したりしている。和室とフローリングの部屋を状況に応じて使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0		適切になるよう人数調整を行っている。利用希望表から何名利用されるのか、行事日を基に当日出勤する職員人数を確保している。資格保持者についてもチェックしている。全体を見ながら行動できるよう心掛けている。配置数に漏れないように、職員同士声をかけ合いながら対応している。利用希望人数に合わせて配置しており、手がかかる子がいるときは多めに配置している。外出の時も多くしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	2		トイレサポートや階段に手すりはあるが、やはり階段が急だと思う。必要に応じて職員が付き添うことで、安全に昇り降りができています。車いすを利用する児童への配慮はできていない。手すりや柵などが適切に配置されている。入口からすぐに階段があるが、転倒防止用に手すりがつけられている。2階に上がる手段が階段しかない。	建物の都合上難しい部分もあるが、可能な限りバリアフリー化に取り組み整備する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	0		自分自身、できているときとできていないときがある。児童の一日の記録等記入している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0		イベントや行事後等にもアンケートを行っている。アンケートを実施し、調査結果について全体の会議等参加して共有し、どのように改善していくか話し合い、その上で取り組んでいる。保護者からの要望等あれば、できることは改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	0		公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	1		行われている。その評価結果は全スタッフへ共有済み。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0		研修の機会があり、自身の学びたい研修に行く事ができる。虐待防止研修等を受ける機会がある。また、強度行動障がい研修をはじめとした研修案内が届いており、参加している。研修の機会を設けている。参加できなくても、職員同士で情報共有している。実際に会場に行ったり、オンラインも利用している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0		アセスメントを基に支援を行っている。計画を立てるにあたり、事前に必ずアセスメントを取っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0		年齢や状況に応じたアセスメントを取ることが可能。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0		チームで意見を出し合い活動を決めている。毎月必ず行われている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0		固定化しないようチームで話し合い、工夫している。曜日ごとに活動内容が被らないようバランスに気を付けている。キッズコア、創作、遊び等必要なプログラムが入っているか、抜けがないかもチェックしている。季節に合わせた行事を取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0		業務日誌を使用しており、その時の状況に応じて設定し支援を行っている。その日のねらいを定めた上で支援をしている。日に応じて内容が考えられている。長期休暇では、外出活動やプール遊び等取り入れて工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0		個々の発達状況に応じて関わり支援している。子供に合わせた対応を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0		確認も行うが、個別で支援が必要な利用者にはどのように対応するべきかの確認もある。ミーティングを毎回行っている。どの部屋に職員を配置、連絡帳の記入担当、活動中に必要な個別支援等、確認している。必ず確認している。打合せに参加できないときは個別で後から打合せがある。その日の活動担当の職員が、他の職員の分担を伝えて注意事項を確認し合っている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4	0	基本的にはその日に行っているが、時には電話対応、保護者対応で難しい日もある。その場合は次の日になることもある。 気がなったこと、不安なことはすぐに職員に聞くようにしている。 その日の職員により、退勤時間が異なることから、毎回終了後に打合せするのが難しい。 ミーティングノートを活用することで情報共有している。 毎日行っていないが、気になることは相談し、共有が必要なことは情報共有するようにしている。 日によっては共有できないときもある。 勤務時間のずれがあるため、実施記録を記入している。 伝言等、メモで残している。 その日いなかった職員に対しても、翌日の朝に連絡がされている。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	記録を取ることで振り返りができる。 振り返りを行うことで、次回の支援をどうすべきか考え、支援を行っている。 実施記録記入を毎回行っている。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	1	モニタリングを行った資料を基に、支援を行っている。 会議を開き、話し合っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	0	0		行っている。	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0		児童発達支援管理責任者や、利用者(及びその保護者)への支援に関係する者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2	0		間違いがないよう、保護者と電話やメールで連絡を取り合っている。また、職員にも共有できるよう指定ファイルに記入している。 学校行事、下校時刻の確認は主に保護者と行っている。 緊急時(トラブル時)の対応については、マニュアルが用意されている。 分からないことがあれば、直接学校のお迎え時に先生に聞く等対応している。	職員によって異なるため、全員ができるようにしたい。 子供の下校時刻に関しては注意を払っているが、迎えに行った際に子供が帰宅してしまっていたり、保護者と学校と事業所間で上手く調整できていないことがあるため、情報共有をしっかりとりたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	0	1		現時点で医療的ケアが必要な児童が在籍していない。 ケアが必要な利用者の保護者を通して、体制を整えている。 個人の対応すべき内容の書類を作成し、職員で共有している。 義足、てんかん発作に対応している。	
関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1	0		情報を共有、個々のファイルで保管し、いつでも見られるようにしている。 入所以前の情報についても共有されている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	0		移行する際は、情報提供する機会があった。 就職を見越した活動を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0		日々連携しており、必要な研修を受けている。 研修案内が定期的にあり、対象職員が参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	0		コロナ禍から交流する機会が少なかった。 今年は別の放課後等デイサービス事業所との交流があったが、障がいのない子供との交流の機会はない。 公園等外出する時に交流することがある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	0		参加している。(研修含む)	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0		連絡するべきことはメールやコドモンにて行っている。 連絡帳や電話を通して伝え合っている。また、面談時に共有している。 連絡帳を通して情報共有したり、送迎時に保護者と伝え合ったりしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3	0		行っている。	
保護者へ の説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0		行事やお買い物に行くときには、事前に負担しなければいけないことを伝えている。 利用開始前に説明を行っている。 支援内容が変わる際、都度面談を通して説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0		電話や面談の際に相談を受けた場合、現場で支援しなければいけないことがあれば教えてもらっている。 電話やお迎え時に相談を受けることがあるが、お話しできる時間を取ったうえで、状況確認、関係機関の連携、助言、支援を行っている。 保護者からの相談に応じている。 半年に一度面談を行い、随時相談を受け付けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	0		バーベキューや父母会を開催している。 茶話会を設けている。また保護者参加型の活動行事を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0		苦情があった場合はすぐに全職員に共有し、今後の対応をどうすれば良いか考え、適切に対応している。 その日のうちに苦情について報告し、どのように対策を取るか話し合いのうえで利用者やご家庭へ周知、対応している。 職員同士共有し、対策を取っている。	

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	プリントやコドモンを使って、子供や保護者が分かりやすいように紹介文を発信している。コドモンを活用、行事予定は用紙で配布している。必要に応じて、その活動に対する連絡先も添えている。ブログを週一回更新している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	あおいで使用するものは持ち帰らないようにし、個人情報もあおい内で話を行っている。ブログ作成時には顔をマークで隠す等、注意している。個別ファイルは錠をかけて管理している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	話すことができない子供は、絵カードを使用して意思疎通している。障がいのある利用者で、意思疎通に関して必要のある子供向けに絵カードを用意し、ツールによって確認することができている。障がいのある子供は絵カードを使い伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	1	事業所での行事はないが、アート展等に作品を展示したりしている。コロナ禍から、開催されなかった。利用者の保護者ときょうだい参加可能な行事については開催されている。地域住民の理解に努めている。	招待する機会が少ないため、少しづつでも交流できる機会を設けていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	また見直すことができるようにラミネートしてある。マニュアルが用意されている。事業所にて保管、職員や保護者の方にも周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	毎月必要な訓練を行うことで、いざという時に迷わず行動できるようにしている。毎月行われている。主に、火災、自身、不審者に対する訓練を行っている。避難訓練を様々なパターンで行っている。定期的に職員と子供と一緒に訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	研修を行ったり、身体的拘束を行う際には、必ず事前に説明を受けたり、どう対応すれば良いのかという対策をしている。虐待防止研修が開かれ、関わる、支援する職員は必ず参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	計画があったらすぐに内容を聞き、どのように対応、支援すれば良いのかという事前研修がある。話し合いのうえで了解を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	利用開始前に、アレルギーについて保護者に確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	共有し、今後どのように対策すれば良いのかも共有し合っている。ヒヤリハットに該当する出来事について記入するファイルがあり、その記録を基にミーティングや会議時共有している。職員同士で事例を口頭でも教え合い、事前に防ぐ工夫をしている。	